

まちづくりネットワーク

あなたの力を地域づくり・まちづくりに……

団塊世代の知的財産・技術を活かそう

来年は2007年、いわゆる団塊世代が定年・退職を迎える時期になりました。戦後のあらゆる面で貧しい時代に生まれ、高度経済成長に向かう時期に就労し、先進国と並ぶほどに日本経済を築きあげ、より文化的で便利な生活へと進展させてきた世代です。したがって、その後の高度経済成長期やバブル崩壊などの時代の流れを肌で受け止め、対応・対処し多彩な経験をしてきた世代でもあり、また仕事を通してIT技術も獲得してきている方が多いのも事実です。

を見出すのもよし、そして何らかの形で地域に関わったり、ボランティア活動を始めたりするなど選択肢は多様です。

NPO活動であれボランティア活動であれ、自分が興味や関心を持つことで第一歩を芽生えさせ、具体的な行動として動き出しましょう。気の合う仲間を見つけ、ともに活動していくことにより、これまでとは異なった新たな出会い・経験が、さらに健康的で潤いのある生活となっていくと思えます。家庭・趣味・市民活動などそれぞれの場に、心地よい自分の居場所が生

まれ、安心して生活することができ、より人間味あふれた人になっていき、また人の輪の広がりが期待できます。

団塊世代

が、これまでの仕事から

解放され自分の住んでいる地域に目が向けられたとき、問題を発見し課題解決に向かっ出てくるものと思われま

す。仕事で培われた企画・IT・管理能力、リーダー性、ネットワーク・指導力などは、たいへんな財産です。その大きな力をぜひ身の回りの活動に生かしていきましよう。

地域社会が

求めているものは、多種多様です。企画・管理能力・リーダー性などはその団体の事業展開やマネージメントに、IT・ネットワークの力は仲間づくりへ、そし



仕事一筋のサラリーマン人生に一区切りし、今まで支えてくれた家族の存在も含め、新たなセカンドライフの構築を目指していくことが、これからではないでしょうか。現役中では取り組めなかつた趣味の世界

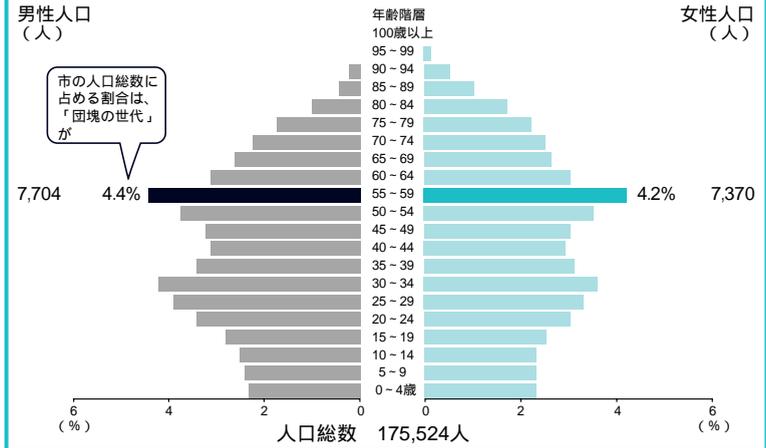


「団塊シニアの生き甲斐発見BOOK1」(技術評論社)より



NPO法人桶ヶ谷沼を考える会の活動紹介がされています

磐田市の人口ピラミッド(平成18年5月末現在)



磐田市の団塊世代の人口データ

て指導性は後継者の育成と活動の発展性へと結びついていきます。

仲間と楽しく語り合い活動していくことが、ともに元気で生きていくための一番の底力になります。



動き出した大きな輪・わ・和 ～各団体の合併後の動き～

市町村合併により、さまざまなまちづくり団体も合併しました。今年度の広報誌では、その後の様子ををご紹介します。

磐田市自治会連合会

平成17年の新磐田市誕生とともに、旧市町村の自治会が集結して所属自治会307の「磐田市自治会連合会」を設立しました。自治会相互の連絡調整や市と現場とのパイプ役を担うことで、単自治会の活動を活性化し、住みよい地域づくりを推進することを目的としています。



「おかえりなさい！ 気をつけてね。」～豊田北部小学校区～

自治会は、回覧板による町内への情報発信・行政文書の配布や、防災、防犯、環境整備（ごみ集積所・道路・河川）や地域福祉活動、その他交流事業を通じて、ふれあいのある快適なまちづくりを目指しています。

連合会では、今年度の重点事業として防犯まちづくりを進めています。全国で子どもが被害に遭う事件が多発していることから、特に下校中の子どもたちを見守ろうと各自治会において防犯パトロールを実施しています。さらに、8月と12月には住民の皆さんに防犯について関心を持っていただくこと、市内一斉のパトロールを実施する予定です。安全で安心な地域づくりには住民一人ひとりの協力が不可欠です。地域の防犯活動にご協力をお願いします。

磐田市ボランティア 連絡協議会

障がいを持つている方々の余暇や活動支援などを行う磐田市ボランティア連絡協議会は、合併で5支部、85ボランティア団体、会員2000人となりました。



「さあ、18年度がスタートです！」

定期総会ではお互いの地域への理解を深めるために、団体の活動紹介をしました。発表した豊岡のおはなしの会「ひらけごま」はブラックシアター（黒い背景で蛍光色の絵に光を当てて動かす劇）を、竜洋の「たんぽぽ」は手話の歌で各地の子どもたちとお年寄りを楽しませています。互いの活動を知ることで、支部の壁

まちづくりの現場から

まちづくりサポーター交流会 「しゃべくりまい会」スタート

6月17日(土)まちづくりサポーターの交流会が開かれました。企画調整課長の「まちサポ同士の交流から活動の発展が期待できる」との挨拶で始まり、司会者の巧みなりードで、あらかじめ三つのグループに分かれ、自己紹介や活動の案がいろいろ話し合われました。

また、4名によるまちサポの活動参加体験の発表もあり、理解が深まりました。

「まちサポは多彩な方が多いので、しゃべつてもらったり、話を聞いたりする会、を開いたらどうか」と提案がありました。その賛同が多く「しゃべくりまい会」と称して今後NPO交流センターで定期開催する方向でまとまりました。参加者からは「参加して良かったです。顔見知りが増え、役に立つ話が聞けました。これから楽しみです」と



話がはずんだ交流会 「次はいつにしようかな？」

好評でした。「笑顔が絶えず、盛り上がり、相互の理解が深まったように思います」と市の担当者が感想を述べていました。

次回の交流会は11月ごろを予定しています。「まちづくりサポーター」は随時入会できます。問合せ：企画調整課

*まちづくりサポーターは、「まちづくりやボランティア活動をしてみたい」人の人材バンクです。



を低くし情報交換や共同企画の学習会も行われています。

「ふれあい広場」は、地域の特性を活かしそれぞれの地で開かれ、親しまれています。他支部での出店参加などの交流も進みつつあります。

1月には講演会を竜洋なぎの木会館で行い、500余名の方々の参加をいただきました。浜松早期痴呆研究所の金子満雄所長による『ぼけない生き方教えます』は、笑いと情感豊かなバイオリンの音色につつまれました。人との交流を大切にし音楽を楽しみ、花を愛で、詩歌をたしなむことなどは、認知症の早期発見・対応につながり、いつまでも若々しく生活できます。ボランティア活動は認知症予防効果が大きいと後押ししていただきました。

(仮称)磐田市総合福祉会館建設のヒアリング参加や意見集約など、みんなが使いやすい施設に向けての取り組みもしています。

磐田国際交流協会 いわたICE(あいす)

平成17年4月1日、磐南5市町村の国際交流協会が合併して新しい磐田国際交流協会が誕生しました。国際交流パーティー等従来の国際交流活動に加え、旧町村で行われていた海外交流事業と旧磐田が取り組み始めていた多文化共生事業の両方を、より広く展開しています。



オーストラリアの高校生と
神明中学生との交流

海外派遣受け入れ事業では、これまでのつながりを大切にしようと、旧町村と関わりのあるオーストラリア3市とアメリカ1市との交流を全て継続。さらに参加者の募集範囲を全市に広げて、より多くの人が交流する機会をもてるようにしました。一方、多文化共生のま

ちづくりでは、在住外国人支援の柱ともなる日本語教室を、磐田中心部だけでなく竜洋地区でも開講し、ブラジルの他、中国やフィリピン、タイ出身の方が受講しています。市内で特に外国人が集住している東新町では、市民と行政の協働により、2年前から多文化交流子育て支援事業を行ってきました。今春、念願の多文化交流センター「こんにちには！」が完成し、外国人の子どもたちの学習支援を軸に、地域に根ざした多文化交流の場づくりを目指しています。

その他、世界の料理教室を旧町村の会場で開催する等、顔が見える交流を大切にしながら人と人をつなげることで、元気な笑顔が磐田の街中にあふれることを願っています。



合併総会後の交流会

田植え体験 ニッセの里

6月3日(土)かぶと塚公園の西下にある祝川のほとりでニッセ倶楽部の皆さんが、黒米の田植えを行いました。今年は、豊田南幼稚園の親子12組約30名が参加。地域の方、磐田市健康づくり食生活推進協議会の方、倶楽部メンバーあわせて約60名で大賑わいでした。



黒米のほかに、じゃがいも、さつまいもも植えられ、秋には収穫祭を行うそうです。子供たちが安心して自然と触れあい、植付けから収穫まで実践することは、地域づくりとともに貴重な体験になると思います。



田植えの後の楽しい昼食

公設公営「とよた市民活動センター」視察

6月30日愛知県豊田市の「とよた市民活動センター」へ行ってきました。トヨタ自動車の本社があり、7市町村の合併により、人口は、41.5万人(磐田市17.5万人)へ、市域は900km(磐田市17.5万km)となった豊田市。中心市街地の松坂屋のあるビルにセンターがあり、年間4万人もの市民に利用されています。隣接して、ヤングオールドサポートセンター(若い高齢者の就労支援)、子育て支援センターがあり、賑わっていました。公営ということで、市職員が常駐し、まちづくりを推進していました。数年かけて民営へと市民団体を育ていくそうです。



情報募集!!

みなさんのまちの
「まちづくりの情報」
を掲載します。
お気軽にご連絡下さい。

問合せ 磐田NPO交流センター
☎ 0538(36)1890(FAX共)

第5回全国国分寺サミット in 遠江

日時 ①11月11日(土) 午後1時～5時
②11月12日(日) 午前9時～午後1時
会場 ①アミューズ豊田
②遠江国分寺史跡公園
内容 ①史跡整備についての基調講演
パネルディスカッション
②遠江国分寺まつり
発掘現場説明会・活動体験・特産品販売
主催 全国国分寺サミット実行委員会
磐田市・磐田市教育委員会
問合せ ☎ 0538(36)0828 佐藤

「地球市民のつどい in いわた」

日時 11月26日(日) 午前10時～午後3時
会場 ワークピア磐田
内容 地域に住む方々との交流
文化体験コーナー・文化披露ステージ・外国の料理コーナー
主催 磐田国際交流協会
問合せ ☎ 0538(37)4988 加藤

編集後記

「NPOって何ですか? ボランティアとはどこが違うの?」という初歩的な質問と「市民と行政の協働について」などの難しい質問が寄せられます。市民活動への知識が二極化…つまりまちづくりへの興味の有無が目に見えて分かれてきています。「団塊の世代をまちづくりへ」今年、そんな話があちこちで聞こえてくると思います。それを紡ぐ「まちづくりネットワーク」でありたいです。
(村上)

アカトンボ観察会

日時 10月15日(日) 10時～
会場 桶ヶ谷沼及び
桶ヶ谷沼ビジターセンター
内容 ナツアカネ・アキアカネなどのアカトンボの話を聞き、実際に桶ヶ谷沼を散策しながら観察する

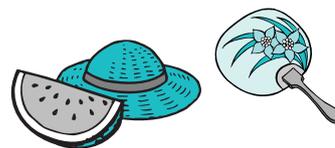
主催 NPO法人桶ヶ谷沼を考える会
桶ヶ谷沼ビジターセンター共催
問合せ ☎ 0538(37)3888 國松

ふれあい広場

月日 10月29日(日)
会場 兎山児童公園
内容 子どもも高齢者も障がい者もみんな楽しく交流するイベント(「冒険キッズの宝島」と同日、同会場で開催します)
主催 ふれあい広場実行委員会
磐田市社会福祉協議会
磐田市ボランティア連絡協議会
磐田支部
問合せ ☎ 0538(37)6200 堀内

遠江国分寺史跡公園除草作業

月日 11月5日(日)
会場 遠江国分寺史跡公園
内容 史跡公園周辺植込み内の除草
主催 遠江国分寺を考える会
協力団体 磐田観光ボランティア「ふれあいガイドの会」
磐田史談会
市内中学生・高校生・一般市民
問合せ ☎ 0538(36)0828 佐藤



ビーバー・カブラリー

日時 9月3日(日) 9時～
会場 豊岡総合センター
対象 小学1～5年生
内容 ゲーム・挑戦コーナー
主催 ボーイスカウト磐田地区
問合せ ☎ 0538(34)0095 兼子
普段の活動見学も随時受付ています

福田音楽愛好会「アンダンテ」

第5回アンダンテ・ファミリーによる秋のコンサート～DOLCEとともに～
日時 10月15日(日)午後2時開演
内容 混声合唱団「コール・ドルチェ」・福田リコーダーを楽しむ会によるコンサート
入場料 無料
(ケーキ&飲み物代300円)

発足5周年記念コンサート 「音楽への愛と感謝」

日時 11月19日(日)午後2時開演
内容 ヴァイオリン 堀江 悟
フルート 堀江 伶子・
ピアノ 田中 梢
による演奏
入場料 2500円(ケーキ&飲み物付)

会場 いずれもDOLCE(ドルチェ) 倉庫 磐田市福田6085
主催 福田音楽愛好会「アンダンテ」
問合せ ☎ 0538(55)2243 事務局内野

みなさんのご意見を!?

交流センター2階に、センターへのご意見や要望をお寄せいただく投書箱を設置しました。もっとこうしたら……こんな設備がほしいなど何でも結構ですのでお知らせください。

磐田NPO交流センター通信
第16号 平成18年8月1日発行

編集・発行 / 磐田NPO活動推進協議会
〒438 0078 磐田市中央町112-4
TEL(0538)36 1890
E-mail:iwata-npo@za.tnc.ne.jp

監修 / 磐田市総務部自治振興課
〒438 8650 磐田市国府台3-1
TEL(0538)37 4811
印刷所 / 中央印刷株式会社